

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		SOU VISION志真志			公表日		R8年 5月 22日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	1階と2階の使い分け。幅広い過ごし方を提供し、人数を分散できるようにしている。	人数が増えると窮屈に感じてしまう生徒も出てくることも十分にあり得るので限られた空間の中で家具の配置を工夫しながら環境を整えていく。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	送迎ルートは常に確認している。	中高学年という事もあり、面談や学習等個別での対応が必要になる為充足している療育を目指すために増員を検討すべきだと考えている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	状況に応じて部屋わけが出来ており、活動ごとに声掛けを行行情報の伝達をしている。	バリアフリーに関しては段差や階段など車いすの利用者には向かない点がいくつかある。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	自分たちの使った物や場所に関しては、帰りの会が始まる前に自分たちで清掃、消毒、整理整頓を行っている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	静かな空間で休みたいなどの要望があった際には、スタッフ見守りの中個別で過ごせる環境を準備してます。	生活空間の環境上、声が響いてしまうのでイヤーマフの導入で個別的に配慮することはできていますが、安静できる空間の提供は今後の課題として挙げられると感じています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0	毎日の出来事を夕礼として共有し、課題や余暇時間の過ごし方などの振り返りや改善を図っている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	毎月の保護者アンケートの実施や定期的な情報共有に努めており事業所での様子だけでなく、生徒の考えや目標など随時共有している。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	スタッフでのコミュニケーションは大切にしてお場を設けております。生徒の様子に合わせて意見交換を行っている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0	毎月保護者アンケートを行っており、業務改善に繋げている。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	会社全体として研修の機会が設けられている。新入社員向けの内容や支援に関するものなど多岐にわたる。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	基本的に相談員や保護者を交えて支援内容についてお話しする機会があるので適切である。また普段の支援プログラムに沿った課題内容をまとめた記録を当日中に保護者が見られるようにしている。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	個々のアセスメントは多く取り入れており、相談員・保護者の方と共有し分析をしたうえで作成している。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	児童指導員も一緒に内容を共有し、様々なアプローチを常に意識している。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	全スタッフで計画を共有、確認して支援している。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	日々の課題への反応や余暇の過ごし方といったインフォーマルなアセスメントを中心に、個々の特性を深く捉えるよう努めています。	今後は、これに加えて標準化されたツールによるフォーマルなアセスメントを定期的に取り入れ、成長の度合いを客観的に把握することで、より精度の高い支援計画の策定につなげていきたい。			

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	SOU VISION志真志		公表日		R8年 5月 22日	
適切な支援の提供	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	保護者とも相談をした上での生徒の支援に必要な項目を設定している。具体的な支援内容については日々のサービス提供記録はもちろんのこと、保護者との連絡ツールを使いながら、生徒の具体的な事業所内での動きについて連絡する機会を設けています。	一方でどうしても業務上余裕がある時にしか保護者へ連絡ができない場合もあるので、月末等の定期的な連絡としての運用を心がけていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	活動プログラムについては内容によって、必ずスタッフ間で立案した場合は相談するようにしています。中高生になるとそれぞれ能力にも差が出ることが多いので、全員が立案した活動プログラムの目標を達成することができるのかを中心に全員で相談しながら全体としての立案を目標に取り組んでいます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	スタッフも間に入り、本人たちがやりたいプログラムを募集して生徒自身が企画や運営を行ったり、そのための必要な物などを考えてもらっています。もうひと段階挙げた活動プログラムの内容を心がけています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	集団活動をメインに行なっているものもありますが、集団活動が苦手な子に対しては本人ができる範囲での個別活動の支援や限定的な参加などを促して行なっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	朝礼だけでなく夕礼も実施して連携を取り支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	中高生ともあるので女子生徒の体調の様子や痙攣持ちの生徒の様子について積極的に振り返りどう対処したのかを話し合っている。またそれらを踏まえて次回の活動プログラムの内容の確認や声かけの仕方など今後の支援の仕方を踏まえた上で話し合いをおこなっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	保護者向けの記録以外にも、その日の内容についても記録を取っている。それを元にモニタリング会議で提示し、検証・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	相談員、保護者の方とも相談しながらモニタリングの際には見直しを行い必要性の判断を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	0	組み合わせの確認はもちろんこと、保護者のニーズや生徒観に合わせながら組み合わせや活動内容の見直しをおこなっています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	集団活動においては事前に役割として設定して誰でも挑戦できるような環境を設定しています。また本人たちのやりたい気持ちを尊重し、支援と掛け合わせて行うよう常にヒアリングをしています。		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	会議に関しては児発管参加で行っているが、児童に対しての直接支援を行っている指導員からも様子の共有をして頂いたり、都合の付く時は同席して頂いたりと多くの情報提供や今後の支援についての計画を一緒に考えたりしている。		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	SOU VISION志真志			公表日	R8年 5月 22日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	必要な連携体制は取れている。
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0	中高学年という事もあるので、なるべく自分たちで職員に伝えるようにしているが、こちらでも確認をしようにしている。	
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0		必要な時には必ず情報共有を行っている。
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	まだそういった生徒はいないが、必要であれば享保共有を行う。	
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1	児童が併用利用している場合にはお互いで相談できる環境整えているが、専門家などによる助言等は行っていない。	
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2		必要であれば機会を設けてもらうようにする。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2	イベントの実施や参加を通して交流している	療育の時間帯が他の児童館や児童クラブと合わない場合が多いので、祝日や学休日等で今後は交流を深めていきます。
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	毎日行っている。生徒と面談した結果の内容、体調面、学習面で気になる点があれば必ずお伝えするようにしている。また、保護者からの意見も取り入れながら支援に繋げている。	
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2		今後そういった支援プログラムも取り入れていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	見学时や体験時、また契約の際に必要なに応じて対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	生徒の考えを日頃から吸収し、会議を行っており、生徒や保護者の意思は尊重したいので必ず確認するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0	必ず読み合わせをして同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	悩みや相談があった際には、一緒に考える事もあるし助言をさせていただくこともある。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	2	イベントの参加を通じて行っている	父母会等の開催はまだ出来ていないが、今後検討していきたいと思う。保護者からの意向があればそれを尊重し、保護者同士の交流を深めていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	相談等があった際には対応していく。	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	SOU VISION志真志			公表日	R8年 5月 22日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	SNSを利用して情報発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	個人情報書類のある部屋では鍵付き書庫の保管し、立ち入らせない等の対応をしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	専門用語や難しい用語は使わず、できるだけ分かりやすい言葉遣いを意識している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		今後子供たちと何か企画をして開催出来たらいいと思っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	マニュアルとして準備はしていないが、定期的の実施は行っており、訓練の後は申し送りを行っている。	事業所には掲示してなく、保護者様には詳細はお伝えはしていない部分もある。次年度はマニュアルを掲示し、しっかりと訓練を行いと考えている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	消防訓練や避難訓練は定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	保護者様に確認を行い状況は把握しており、必要であれば対応をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	保護者様に確認を行い状況は把握しており、必要であれば対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1	課題の前には必ず安全管理や確認を行い実施している。	安全な環境であるが備品の劣化等の問題があるので改善に取り組む
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	安全面に関しては徹底している事は周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	朝礼や夕礼を活用してすぐに共有できる仕組みを取っている。ヒヤリハットがあった際には職員間での共有は行い再発防止に向け検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	定期的な研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	やむを得ない場合には会議などの場を設け、保護者様に相談を行い許可を得て対応し、個別支援計画書への記載も行っている。		